

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公開番号】特開2004-115529(P2004-115529A)

【公開日】平成16年4月15日(2004.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-015

【出願番号】特願2003-362606(P2003-362606)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/43	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 1 2 Q	1/34	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/48	Z N A
A 6 1 K	39/395	H
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 1 2 Q	1/34	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月19日(2005.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

B細胞に特異的な表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有するoncタンパク質を含む、選択的細胞傷害性試薬。

【請求項2】

B細胞に特異的な表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有するoncタンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬であって、該表面マーカーがCD2である、試薬。

【請求項3】

B細胞に特異的な表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有するoncタンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬であって、前記表面マーカーがCD74である、試薬。

【請求項4】

B細胞に特異的な表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有するoncタンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬であって、前記抗体がLL1である、試薬。

【請求項5】

B細胞に特異的な細胞表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活

性を有する o n c タンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬の、悪性 B 細胞を殺傷するための医薬の製造における使用であって、該細胞表面マーカーが C D 2 2 である、使用。

【請求項 6】

C D 7 4 に対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する o n c タンパク質を含む選択的組換え細胞傷害性試薬の、C D 7 4 細胞表面マーカーを有する悪性細胞を殺傷するための医薬の製造における、使用。

【請求項 7】

前記殺傷させるべき細胞が、神経芽細胞腫、黒色腫、および骨髄腫からなる群より選択される、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

前記細胞表面マーカーが C D 7 4 である、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 9】

前記抗体が L L 1 である、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 10】

B 細胞に特異的な細胞表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する o n c タンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬を、薬学的に受容可能なキャリアとともに含む薬学的組成物であって、該 o n c タンパク質が、配列番号 1 に記載のアミノ酸配列を有し、該細胞表面マーカーが C D 2 2 である、薬学的組成物。

【請求項 11】

B 細胞に特異的な細胞表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する o n c タンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬を、薬学的に受容可能なキャリアとともに含む薬学的組成物であって、該 o n c タンパク質が、配列番号 1 に記載のアミノ酸配列を有し、該細胞表面マーカーが C D 7 4 である、薬学的組成物。

【請求項 12】

前記抗体が L L 1 である、請求項 11 に記載の薬学的組成物。

【請求項 13】

C D 7 4 に対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する o n c タンパク質を含む選択的組換え細胞傷害性試薬を含む、C D 7 4 細胞表面マーカーを有する悪性細胞を殺傷するための薬学的組成物。

【請求項 14】

前記殺傷させるべき細胞が、神経芽細胞腫、黒色腫、および骨髄腫からなる群より選択される、請求項 13 に記載の薬学的組成物。